

平成 27 年度第 3 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所：平成 27 年 6 月 2 日（火）13：30～15：20 評議会室

出席者：大田理事長（議長）、川口副理事長、廣川理事、濱崎理事、倉茂理事、増田環境科学部長、山根工学部長、面矢人間文化学部長、甘佐人間看護学部長、井手教授、稲葉教授、竹下教授、伊丹教授、篠原委員、末松委員

欠席者：石橋委員

事務局：木村事務局次長、高居総務グループ統括、三和田財務グループ統括、久保田経営企画グループ統括、水野学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ統括、村井地域連携推進グループ統括、山田副参事、柳沼主事

平成 27 年度第 2 回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について原案のとおり承認された。

議 題

審議事項

- 1 平成 26 事業年度にかかる業務の実績に関する報告書（案）について
大田理事長およびそれぞれの業務を所管する副理事長、理事から資料に基づき説明があり、計画番号 22 の判断理由について「最低限の活動項目」を「必須項目」と、計画番号 50 の判断理由について「竣工予定である」を「竣工した」と修正のうえ、審議の結果、承認され、役員会に審議を委ねることとされた。
- 2 教育研究評議会からの理事長選考会議委員の選出について
大田理事長より、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。結果、平成 27 年度の教育研究評議会から選出する理事長選考会議委員の学内委員は、増田環境科学部長、面矢人間文化学部長および甘佐人間看護学部長とされた。
- 3 自己評価委員会規程の改正について
久保田経営企画グループ統括より、資料に基づき説明があり、審議の結果、第 2 条および第 3 条の改正については案のとおり承認され、平成 27 年 6 月 2 日から施行することとされた。なお、第 9 条の新設については自己評価委員会へ差し戻すこととなった。

報告事項

- 1 教員の採用について
大田理事長より資料に基づき報告があった。
- 2 特別研究員の受入について
大田理事長より資料に基づき報告があった。
- 3 平成 27 年度「近江楽座」採択プロジェクトについて
村井地域連携推進グループ統括より資料に基づき報告があった。
- 4 平成 26 年度卒業・修了者の進路状況等について
水野学生・就職支援グループ統括より資料に基づき報告があった。
- 5 平成 27 年度予算執行方針および予算執行計画について
三和田財務グループ統括より資料に基づき報告があった。

6 各委員会等の結果の概要について

- (1) 平成 27 年度第 1 回自己評価委員会
- (2) 平成 27 年度第 1 回入学試験委員会
- (3) 平成 27 年度第 1 回広報委員会
- (4) 平成 27 年度第 2 回動物実験委員会（書面開催）
- (5) 平成 27 年度第 1 回衛生委員会
- (6) 平成 27 年度第 1 回教務委員会

そ の 他

1 防衛省競争資金（安全保障技術研究推進制度）への応募について

大田理事長より、以下のとおり報告があった。

- ・防衛省が予定している安全保障技術研究推進制度への応募申請について、第 2 回教育研究評議会で審議した結果、条件付きの賛成から反対まで幅広い意見があり、今回、当該制度への申請を認めることは適切ではないと判断した。
- ・問い合わせされた教員には申請を控えるよう伝えて、同意をいただく。
- ・このような問題に対応できるよう、本学における科学研究のあり方、実施上のガイドライン、申請の扱いを審議する体制等について、早急に検討する。

2 開学 20 周年記念式典の開催について

久保田経営企画グループ統括より資料に基づき、告知があった。

3 近江地域学会 総会・研究交流大会について

濱崎地域連携担当理事より資料に基づき、告知があった。